



～7月のクラスだより～



ひよこ組

【7月の保育のねらい】

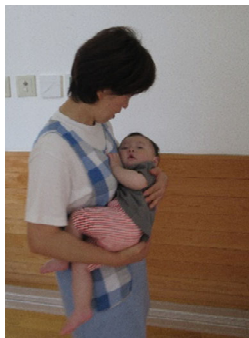
- ・一人ひとりの生活リズムや健康状態を把握し夏を快適に過ごす。
- ・のびのびと体を動かしたり、好きな場所やおもちゃでじっくりと遊ぶ。

〈しっかり寝られるように〉

入園当初、眠くなった頃に抱っこで寝かせようとするので泣きだして。今では毎日かわる中で、泣きも収まってきているように感じます。これも3か月付き合う中で信頼関係ができてきたからなんだろうと感じ、嬉しく思います。最近では布団でトントンされながら子守唄を聞き寝られるようになったり抱っこで今までより短い時間で眠れるようになったりしています。眠りについてからは睡眠を見守り、眠りが浅くなる時にはそばに付き、トントンしてしっかり眠れるように心がけています。睡眠がきちんととれていないと機嫌よく遊べず食べられず快適に過ごせないからです。睡眠が取れていると遊びも楽しそうに活発に動き、しっかり満たされて満足して過ごすことができます。

トントンを心地よくされているからなのでしょう、遊びのなかで人形をトントンしたり自分をトントンして可愛い姿を見せてくれます。

暑くなってきましたが健康に気を付けながら、快適に過ごせるように配慮していきます。



ちゅうりっぷ組

【7月の保育のねらい】

- ・水の感触を味わいながら、水あそびやプールを楽しむ。
- ・夏の自然(空・雲・雷・セミなど)に興味をもったり観察することを楽しむ。

〈泥あそび、水あそび〉

朝の会で「今日は晴れているね」と天気について話していると、こどもたちから「園庭であそびたい」という声が挙がります。「お水を使って、池を作りたい」「美味しいスープも作れるよね」とどんなあそびをしたいのか具体的に伝えてくれます。園庭に出ると早速スコップを手に取り、「お山と池を作ろうよ」と数人で話し、砂場で作り始めます。ある程度山を作ると水を加えて固めたり、くぼんだ所に水を入れ「ジャブジャブ池の完成!」とみんなで足を入れ感触を楽しんだりとダイナミックにあそんでいます。お水と一緒に葉や花、ぶどうやあんずなどを拾ってきて、スープやジュースなどを作っている子もいます。「お水と混ぜたら色が変わったよ」「なんかチョコレートみたい」と様々な発見があるこどもたちです。汚れた服を水洗いするための入れ物を保育室に用意しているのですが、足を洗い終わると「こんなに汚れちゃった」と保育者が声をかける前に自ら洋服を入れています。これから夏本番!夏ならではのあそびを存分に楽しみたいと思います。



りす組

【7月の保育のねらい】

- ・保育者や友だちと一緒に水遊びを楽しむ。
- ・スプーンの使い方などを知りながら楽しく食べる。

〈おいしーね!〉

昼食の時間になると、「ごはんきたよー!」「やったあ!」とにこにこ笑顔で教えてくれるりす組のみんな。スプーンでスープをすくい、ごっくんと飲んだり、おかずをばくばくと食べたりしています。友だちの「おいしー!」と言う声を聞き、みんなで「おいしいねー!」とお話しながら食事を楽しんでいます。また、部屋にある『もぐもぐがじがじ』という絵本の「もぐもぐ、がじがじ、ごっくん」というフレーズを気に入り、こどもたちもその言葉を口ずさみながら、食事をするかわいい姿も見せてくれています。

まだまだ、手づかみ食べや、こぼしながら食べる姿は見られますが、自分で食べたい気持ちや楽しく食べる気持ちを大切に、満足いくまで食べられるように見守っていきたいと思います。また、スプーンの正しい持ち方や口への運び方などを丁寧に伝えていきたいと思っています。



さくら組

【7月の保育のねらい】

- ・プールや水遊びを楽しむ。
- ・夏の日課の流れを知り、見通しを持って生活する。

〈雨の日散歩〉

「雨の日散歩」を楽しみにしていたこどもたち。レインコートを着て長靴を履き、「雨が降るとかたつむりがいるんだよね」「カエルだっているんだよ」「ミミズも!」などと話しながら、初めて出かける雨の日散歩に興奮しながら出発しました。「今日はこっちの道に行ってみよう」「こっちの道には動かないカエルがいるんだよ(置物のカエルです)」「いいね。行ってみよう!」なにかがあるかなとワクワクしながら歩きだしました。「かたつむりがいるかな」とアジサイにじっくり目を凝らし観察したり、「お花がキラキラしているね」と雨粒がついていることに気が付く子もいました。よく見ると、青虫の幼虫を見つけたり、家の壁にくっついてた蝶々も見つけました。「あの虫交尾をしている」「こうびってなーに?」「卵を産むっていうこと」自分が知っている知識を友だちに教えてあげる姿があったり、その後も『毛虫』や『なめくじ』を見つけて興奮していました。なめくじを見つけた時も「なめくじってかたつむりに似ているよね。なにが違うのかな?」「違うところは殻がないよ」「あーそうだね。でも似ているよね」とじっくり見ながら話していました。最後に動かないカエルの所で、かたつむりを見つけ大興奮でしたが…よく見ると殻だけだったので、ガッカリのこどもたちでした。普段通る道でも雨の日ならではの発見が多かったので、こどもたちは「たのしかった!また行きたい」と言っていました。



うさぎ組

【7月の保育のねらい】

- ・友だちや保育者と水・氷・片栗粉などで感触遊びを存分に楽しむ。
- ・夏野菜の成長を楽しみにし、収穫しておいしく食べる。

〈赤ちゃんきゅうり、大きくなったよ!〉

5月に植えたきゅうりがぐんぐん成長し、観察が楽しい毎日です。「おおきくな〜れ!」とジョウロで水を上げています。「黄色のお花が咲いた!」と喜んだり、葉っぱや花の下にできた小さなきゅうりを触って「ふわふわだよ」「なんかチクチクするね!」等々発見をしています。待ちきれないように「早く食べたいね!」と毎日のように話していました。みんなのお世話の甲斐もあり、20センチほどのきゅうりを初収穫!おやつ時に、包丁とまな板を用意し、こどもたちの目の前で切りました。「味噌がいいひと〜」「塩がいいひと〜」と聞くと、「みそ〜!」「しお〜!」と自分で選んで嬉しそうに声が飛び交いました。「おいしい!」「シャキシャキしてる!」「おかわり!」と自分たちで育てたきゅうりを美味しくいただくことができました。次々と「赤ちゃんきゅうり」ができてきています。大きくなるのを心待ちに、収穫して食べたいです。



もみじ組

【7月の保育のねらい】

- ・プール遊びを楽しみながら開放的な気分を味わい、心身ともに充実する。
- ・お泊まり会やなつまつりの取り組みを通して、仲間と協力してやり遂げた喜びを味わう。

〈みんなで作るとおいしいね〉

「ごはん炊いてみる?」「カレーも作りたい!」という話がでてから約1か月半。「皮を剥かないといけないよね?」「包丁で切ってお鍋に入れるんだよ!」「じゃあ「れんしゅう」しないといけなくない?」という言葉から、ピーラーや包丁を使うことに挑戦してきました。初めての豚汁作りでは、どの野菜を皮むきするか、誰が包丁で切るかという担当ももってグループの友だちと相談して決めました。当日は「どのくらいの人参にする?」「どうやって切る?」と、具材の大きさにこだわったり、様々な切り方(半月切り等)に興味をもったりしながら、はじめての包丁に挑戦していました。ドキドキの表情が多く見られていましたよ。その工夫が味にも影響するのか、「(中身は同じなのに)ちょっと味が違う!」という驚きの展開も。「こっちのグループも食べてみよう!」「やっぱり〇〇グループ(自分のグループ)が一番おいしいわ!」と活気溢れるひとときになりました。梅木さんや他クラスの職員にも美味しく食べてもらったことで、こどもたちもとても喜んでいました。「〇〇さん(他の職員)にも食べてもらいたい」「もう1回作りたい!」という声があり、豚汁作りは第2回も計画しています。

6月の中旬に行った念願のカレー作りは、「ついに!」という嬉しい気持ちや、豚汁作りで培った自信をもって臨み、とても楽しい活動となりました。「どうやら前の前の前のもみじさんは、保育園に泊まって、夕飯にカレーを食べたらしい…」という話をしたところ、「ぼくたち/わたしたちも泊まりたい!」ということになり、現在は「お泊まり会」に向けた話し合いの真っ最中です。たくさんの「やりたい!」という気持ちを擦り合わせながらつくり上げ、達成感や自信に繋がるような経験ができればと思っています。

